

「令和3年度予算案の概要」のポイント

1 純利益確保の見通し

区分	令和2年度予算	令和3年度予算	増減
純利益（水道）	239,304 千円	180,120 千円	△59,184 千円
純利益（下水道）	75,220 千円	74,843 千円	△377 千円

純利益は、水道・下水道とも前年度の当初予算より減少しますが、一定程度確保できる見通しです。水道の加入金は、近年の宅地開発などにより新規住宅建設が好調でしたが、令和3年度以降は減少する見込みです。（資料P1、P4）

2 修繕費の増加

区分	令和2年度予算	令和3年度予算	増減
修繕費（水道）	88,652 千円	98,222 千円	+9,570 千円
修繕費（下水道）	180,981 千円	198,641 千円	+17,660 千円

修繕費は、水道・下水道とも管路と施設の老朽化に対応するため、前年度を上回る予算額となっています。下水道では浄化センター設備の予防的な修繕を行うため、増額するものです。（資料P1、P4）

3 支払利息の減少

区分	令和2年度予算	令和3年度予算	増減	増減率
支払利息（水道）	41,408 千円	35,674 千円	△5,734 千円	△13.8%
支払利息（下水道）	170,168 千円	147,307 千円	△22,861 千円	△13.4%

上下水道とも企業債の償還が進み、借入利率も低下していることから、支払利息は前年度よりも減少する見込みです。（資料P1、P4）

4 水量は微増

区分	令和2年度予算	令和3年度予算	増減	増減率
年間総有収水量（水道）	10,285,033 m ³	10,432,513 m ³	+147,480 m ³	+1.4%
下水道使用量	10,719,189 m ³	10,889,905 m ³	+170,716 m ³	+1.6%

令和2年度中の使用実績を踏まえ、水量は水道・下水道とも前年度予算に比べて1.5%前後の増加を見込んでいます。（資料P3、P6）

下水道使用料は使用量の増加に伴い前年度より1.3%増の収入を見込んでいます。

水道の年間総有収水量は1.4%の増加を見込んでいますが、水道料金は使用水量に応じて段階的に単価が上がる料金体系（逦増制）をとっており、水を多く使う世帯が減り、使用水量の少ない単身世帯が増える傾向にあるため、全体の給水収益としては0.1%の減を見込んでいます。（資料P1、P4）